



- 撮影技術学習を通じて、一眼レフカメラの撮影および映像の編集技術の習得
- 人材の育成
- 地域の価値の再認識
- 地元への誇りの醸成などの機会を創出し、加え

余談

一眼レフカメラに惹かれたのか、キヤノンマーケティングジャパン(株)の担当者にカメラの価格を質問する生徒がちらほらいたとか。生徒たちが使用したカメラの相場は、予想よりもかなり高額のように

撮影技術学習で大船渡市のPR

大船渡東高校で撮影技術学習を実施しています

令和2年度から、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、三陸鉄道株式会社など企業の参画を得て、情報処理科3年生を対象に撮影技術学習を実施しています。

趣旨

- ① オリエンテーション・座学  
写真家かとうまさゆきさんを講師に、写真が上手くなる5つの要素など、写真・動画撮影の基礎を学びました。
- ② 校外研修  
碓石海岸の絶景と三陸鉄道貸し切り列車から見る風景などを素材に、撮影研修を行いました。
- ③ 15秒CMの制作  
4人1グループでCM3作品を制作。生徒それぞれが撮影した写真、動画を活用し、企画や構成、編集全てを生徒たちが手掛けました。

て、その成果として、大船渡の魅力伝えるCMを制作し、大船渡のPRにつなげます。

学習の内容

- ① オリエンテーション・座学  
写真家かとうまさゆきさんを講師に、写真が上手くなる5つの要素など、写真・動画撮影の基礎を学びました。
- ② 校外研修  
碓石海岸の絶景と三陸鉄道貸し切り列車から見る風景などを素材に、撮影研修を行いました。
- ③ 15秒CMの制作  
4人1グループでCM3作品を制作。生徒それぞれが撮影した写真、動画を活用し、企画や構成、編集全てを生徒たちが手掛けました。

伝統ある大船渡高校と、平成20年に大船渡農業、大船渡工業、高田高校商業科、広田水産高校家庭科が統合し、専門高校として新たな歴史を刻み始めた大船渡東高校。現在この2校では、それぞれ特色ある授業に加え、さまざまな地域活動を行っています。本号では、地域で活躍する、これら2校の生徒の取り組みを紹介します。

魅力ある中心市街地形成のための高校生が奮闘しています

「まちもり大学」による人材育成計画

まちもり大学は、平成31年3月に、まちづくりの担い手となる人材を育てようと創設されました。

「まちを守る」「まちを盛り上げる」をコンセプトに、まちづくりに関する学びの場の実施、地域住民が主体となるまちづくり活動の企画・立案・運営などを行っています。まちもり大学から生まれた企画には「みえるまちづくり」「ジオプロ」などがあり、このページでは「学園祭プロジェクト」について紹介します。

キャッセン大船渡「春の学園祭」を開催します

高校2年生を中心とした実

- 行委員会が主催し、2019年に実施した「キラキラ☆冬の学園祭」をベースに、以下の日程で開催します。
- ▽ 開催日時  
3月20日(日) 午前10時～午後4時
- ▽ 会場  
キャッセン大船渡コミュニティスペース
- ▽ 内容  
未就学児、小学校低学年向けに映画「I.T」を模したお化け屋敷です。
- ▽ お問い合わせ先  
大船渡市市民活動支援センター(☎05702)



学園祭に向けては、何度もミーティングを実施しました

- 1 パフォーマンスステージ  
▽ 場所 千年広場
- ▽ 内容 高校生バンド、郷土芸能、ダンスグループなど
- ※出演団体は調整中です。
- 2 ドローン教室  
▽ 場所 おおふなと夢商店街会議室
- ▽ 内容 プログラミングを学びながらドローン体験を行います。
- ▽ 講師 佐藤健さん(特定非営利活動法人絆プロジェクト三陸)
- 3 お化け屋敷  
▽ 場所 キャッセン大船渡コミュニティスペース
- ▽ 内容 未就学児、小学校低学年向けに映画「I.T」を模したお化け屋敷です。
- ▽ お問い合わせ先  
大船渡市市民活動支援センター(☎05702)

取り組み2年目にして特別賞を受賞!!

生徒たちが制作したCM作品の中から1作品を選考し、「ふるさとCM大賞」に応募しました。

結果はなんと、31作品中、6作品にだけ与えられる特別賞を受賞。特別賞の中でも、ふるさとCM大賞の番組司会を務める天津木村さんが選ぶ「天津木村賞」をいただきました。来年は大賞を目指します。

CM作品テーマ

「映える田舎 大船渡」  
自分が住む街には何もないと感じていた日々、でもそこにはあった大船渡の魅力。生徒たちが学習を通して素直に感じとったものをテーマにしています。

市公式 YouTube で配信

ふるさとCM大賞参加作品と生徒たちが制作したCM作品12本を、大船渡PR動画として市公式YouTubeチャンネルで配信しています。

東高祭の魅力 ～新旧生徒会長が語ります～



前生徒会長 佐藤あかりさん

東高校最大の行事が文化祭の「東高祭」です。各学科の魅力が溢れ、学びを活かして試行錯誤された展示は、本来多くのお客様に見ていただきたいのですが、コロナ禍で保護者に限定しての公開になっていることがもったいないと感じます。

体験や販売、食堂など、活気溢れる大船渡の縮図のようなイベントですので、コロナ禍が終わった後は是非来てください。

東高祭の売上げの一部は市に寄附いただいています

やすらぎに包まれ活気あるまちづくりのために、大切に活用させていただきます。大変ありがとうございます。

東高祭では、学校の活動を地域の方々に知っていただく機会となるよう、地域との繋がりを大切にしてきました。数年前には、「3,000人プロジェクト」と称して、たくさんの地域の方々に来校していただきました。

しかし、昨年はコロナ禍で、規模を縮小しての開催となっています。将来再び多くの地域の方々に楽しんでいただける学校祭にするため、今の自分たちにできることに全力で取り組んでいきます。地域と東高校とのつながりをより深めていけるような企画をできるようにしていきたいと思っています。



現生徒会長 栗原武斗さん

けせんシネマ「おもかげ」



地域の歴史、文化、伝統を発信。制作した映画のタイトルは「おもかげ」。大船渡、陸前高田、住田の昭和時代の記録と記憶がよみがえる作品。

●制作メンバー  
制作に取り組んだのは、大船渡高校で芸術科目「表現」を選択した生徒17人。令和2年度に同校の生徒有志によって活動がスタートしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で完成に至らず、現メンバーが引き継いだ。

●映画の構成  
気仙地域の昭和時代の日常や自然風景のほか、地域や学校行事、冠婚葬祭など、市民から収集した約100本の8ミリフィ



ルムを編集し、フィルム提供者へのインタビューシーンや現在の風景とつなぎ合わせた。また、生徒が演奏するピアノや大船渡東高校太鼓部の音源のほか、自分たちで録音した効果音を差し込んでいる。

●公開と今後  
現在、45分間の映画本編をインターネット上で期間限定公開している。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期されている上映会や交流会を令和4年度に実施すべく企画を進めている。

視聴はこちら